

事務事業評価シート (評価対象年度：平成 30 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		保健体育推進団体支援事業				②事業番号		7626	
③事業類型		7. 負担金・補助金事業		④開始年度		年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		法令		⑦実施手法		直営		全部委託	
⑧関連予算科目コード		款		9		項		6	
⑨担当部名		教育部		⑩担当課名		生涯学習課		会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 泉南市体育協会		① 泉南市体育協会会員数		人	
② 泉南市スポーツ少年団		② 泉南市スポーツ少年団団員数		人	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
泉南市体育協会・泉南市スポーツ少年団に対して、活動事業費として、市の補助金を交付する。 体育協会活動内容 総会(年1回4月)、常任理事会・理事会(毎月開催)、指導者研修会(スポ少共催)(5月)府総体選手激励会 兼市総体開会式(6月)、府総体泉南地区大会及び中央大会(6月～)泉南市総合体育大会(8月～)、りんくう マラソン大会(11月)大阪府市町村対抗駅伝大会(2月)、KXI泉州国際マラソン大会(2月) スポーツ少年団活動内容 総会(年1回4月)・本部会議(毎月開催)、入団式(4月)、指導者研修会(体協共催)(5月)、サマーキャンプ (8月)、体力テスト会(9月)、駅伝大会(1月)、新年交流会(市体育協会と合同)(1月)、団員募集(2月)、泉 南地区スポーツ少年団連絡協議会・指導者協議会合同会議(年5回)、泉南地区スポーツ少年団大会(各種 目、4月～3月)、泉南地区スポーツ少年団指導者研修交流大会(11月)、泉南地区スポーツ少年団団員交 流会(1月)他。		① 泉南市体育協会活動団体数		団体	
		② 泉南市スポーツ少年団数		団体	
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
泉南市体育協会又は各競技協会の育成・向上発展を助長し、市民又は会員の健康や体力 づくりとなる。 泉南市スポーツ少年団又は各単位団の育成・向上発展を助長し、青少年の健全育成を行 う。		① 泉南市体育協会活動回数		回	
		② 泉南市スポーツ少年団活動回数		回	
		③			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
体育協会会員の体力の増進・健康維持向上に貢献することにより、スポーツの推 進を促す。		政策(章)		1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち	
		施策大(節)		4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進の まちをめざします	
		施策中		2 生涯学習内容の充実	
		施策小		4 スポーツの推進	

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	泉南市体育協会会員数	人	4,000	4,000	2,500	2,000	1,500	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②	泉南市スポーツ少年団団員数	人	446	449	424	420	420	
活動指標①	泉南市体育協会活動団体数	団体	17	18	17	17	17	
活動指標②	泉南市スポーツ少年団数	団体	22	22	22	22	22	
活動指標③								会員数の精査を 行っためH30から 変動している。
成果指標①	泉南市体育協会活動回数	回	34	34	34	34	34	
成果指標②	泉南市スポーツ少年団活動回数	回	36	38	37	37	38	
成果指標③								
事業費	投入人員	正職員	人	0.13	0.13	0.16	0.16	事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
	事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	1,044	1,044	1,297	1,297	
		直接事業費	千円	1,494	1,494	1,494	1,449	
		総事業費	千円	2,538	2,538	2,791	2,746	
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	—
	府支出金	千円	0	0	0	0	0	
	受益者負担金	千円	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,538	2,538	2,791	2,746	2,746	

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	各団体に補助金を交付し団体を育成することによって、市民の体力の増進・健康維持向上に貢献させるため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	スポーツを行うことで健康になりたいという要望は若年層から高齢者まで一層高まっていくと思われる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	市民の体力の増進・健康維持向上に貢献する。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	スポーツ活動に精通した各団体に補助金を交付することで、スポーツの推進に貢献している。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	活動内容は厳選されており適切である。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	市のスポーツ推進に多大に貢献しているため、影響があると思われる。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	スポーツ活動に精通した各団体に補助金を交付することで、スポーツの推進に貢献している。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	各スポーツ団体と連携を密にして、事業を進めていくことによっており十分な成果を得られている。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	スポーツ関係の団体は他にないため連携等は難しい。

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	各スポーツ団体の活動を成果を下げずにコストを下げることは難しい。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	各競技協会の会員、参加者から適切に費用を徴収している。

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	スポーツ活動に精通した各団体に補助金を交付することで、スポーツの推進に貢献している。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	↓ (年まで) (年から) (年から)
	<今後の展開方針> - 重点化する(集中的なコスト投入) - 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) - 効率化する(コストを下げる) - 簡素化する(規模を縮小する) - 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など		—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—